

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。

リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。



## No10 The company in Shirakawa

浅井ショーワ(株)  
asaishowa CO., LTD.

住所：東工業団地字南5番地  
事業内容：金属部品の製造販売

### 素材調達・機械加工・アッセンブリまで ニーズにマッチした製品を提案



- ① トラックのエンジンに使われるインテークマニホールド部品等を製造
- ② 東工業団地内にある工場は騒音に配慮した設計となっています
- ③ 明るい笑顔が絶えない総務部の皆さん（中央は部長の山本浩さん）
- ④ 昨年12月に購入した最新の横型マシニング
- ⑤ 清潔に保たれた工場内。社員の安全の徹底を図っています
- ⑥ 「白河の発展のために協力したい」と話す社長の渡辺さん

「私たちは、原材料の調達、金属製品の開発・製造、配送、販売といった一連の流れ（サプライチェーン）を通してユーザーに様々な提案ができる会社です。主にトラック、建設機械の部品を製造していますが、現在の年間80億円の売り上げから将来は100億円規模となるのが目標です」と話す社長の渡辺豊さん。

浅井ショーワの前進となる(株)昭和製作所は昭和24年東京都杉並区に設立。昭和47年に同製作所白河工場を夏梨に新設し、平成11年に東工業団地（東地域）へ移転、平成22年に現社名に変更しました。敷地面積は42,571㎡、社員は100人。長年蓄積した工程設計・治具製作のノウハウを生かした鋳造品・鍛造品の加工を得意としています。東日本大震災後には、施設等の整備を図ったほか、防災訓練や災害マニュアルの徹底、環境・節電対策にも取り組んでいます。

また、社員の生活向上を支援するため、リゾートホテルと契約し社員が活用できるようにするなど、福利厚生の充実に努めています。

「従業員のほとんどが白河地域に住んでいるため、この地域と共生し、雇用面でも白河に貢献したいと考えています」と渡辺さんはほほえみながら話してくれました。

## 白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、12月15日から1月17日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。1月18日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 菅原法律事務所 菅原英博 様
- 福島県市長会 様
- 扇歌謡教室 様
- 不二家川島ベシア店 ((有)マルタ商会 田崎徹也) 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》  
(12月22日～1月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 虹のなないろプロジェクト実行委員会 様
- 味の素(株) 様

### Introduction of the cover 今月号の表紙

龍蔵寺（年貢町）のだんご市で売られていた「だんごの木」を今月号の表紙にしました。だんごの木とは、ミズキという木に団子と縁起物が飾りつけられたもので、とても色鮮やかで、豊作祈願や生活が豊かになるなど、福を呼ぶと言われていました。今年も皆さんに福が訪れますように。

### 「いいね！」を押して市の情報をチェック



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>